

原子の力を使った発電ってなに?

原子の中にある大きな力を使って電気を作ることだよ。

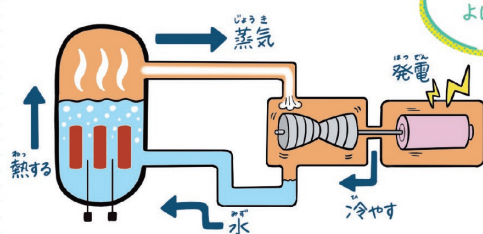
電気は火や太陽光、風などいろいろなエネルギーから作られているよ。その中で少ない燃料でたくさんの電気を作れるのが、原子の力! 安定して作れるから、わたしたちの生活に欠かせないエネルギー。原子の力を使ってどうやって電気が作られるか見てみよう!

日本原子力発電 株式会社 東海第二発電所



安全に電気を作って地域に届ける「げんでん」

原子力発電所では、ウランの核分裂で出る熱で水を温め水蒸気を作り、その水蒸気でタービンという大きなプロペラを回して電気を作ります。原子力発電は少ない燃料からとてもたくさんの電気を作れるのが特長です。そして、安全に運転するために発電所の中にはたくさんの人が働いています。



日本原子力発電は「げんでん」とよばれているよ!



電球から光が出るように放射線が出ています



「放射線」は光や電波の仲間、病院のレントゲンにも使われている身近なものです。放射線は宇宙から降り注いだり、地面や、食べ物からも出ているんですよ。

発電所には電気を作り終えた古い発電所もあります。役目を終えた発電所は、長い時間をかけて安全に片付けます。片付けで出てきた鉄などはベンチなどに再利用しています。

東海発電所



発電所の片付けにもたくさんの人が働いています



はたらく人に聞いてみた!



INTERVIEW

原子力発電所という大きな工場を動かす「運転員」をしています。みなさんが使う電気を届けるためには、この運転員が交代しながら24時間発電所を監視します。発電所の中でも中心となる仕事なので、大きなやりがいを感じています。

東海第二発電所 発電室

隈元 大輝 さん



INTERVIEW

原子力発電所の中ではたくさんの水が使われます。わたしはその水の成分を調べて安全かどうかチェックしています。他にも放射線の量を管理するなど原子力発電所ならではの確認もしますよ。周りの地域の安全を守る大切な仕事です。

安全管理室

後藤 希望 さん



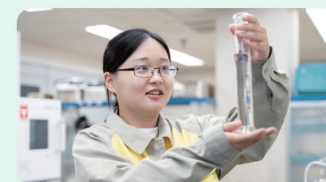
原子力発電所のお仕事

運転員



発電所の中心的存在。機械を動かしたり、発電所でおかしい所がないか確認します。

技術者



発電所で使われる機械が壊れないように点検したり、安全かどうか水などをチェックします。

安全管理員



発電所の中や、敷地の外で放射線の量を連続して測って、確認しています。

テロ対策



インターネットから侵入しようとする悪い人たちから、あらゆる技術を使って発電所を守ります。

安全訓練



発電所で働く人たち全員で、問題が起きた時に身を守るように訓練を行います!

総務



発電所で働く人たちみんなが働きやすいようにお手伝いします。

ここにも注目!!



発電体験コーナーなど、楽しく原子力について学べます!



地域の子もたちと一緒にVR体験やスライム作りもしているよ!



茨城県那珂郡東海村白方1-1

029-282-1211

会社ができた年:1957年

人数:約600名(東海)

<https://www.japc.co.jp>